



ダム本体建設工事の 立木の伐採が完了しました。

足羽川ダム建設事業は、ついにダム建設の中心となる本体工事に着手しました。
ダム建設予定地にあった立木の伐採を終え、ダムを支える右岸部と左岸部が姿を見せてきました。
9月から、ダム堤体を支える固い岩盤を掘り起こす基礎掘削工事が始まりました。

伐採状況～ビフォー・アフター！

Before [2020年4年]

右岸側にはまだ、立木がたくさんあり、
ダム底の部分がはっきりわかりません。



After [2021年8月]

右岸側の立木が伐採され、
ダム堤体の形が見えてきました。



ダム建設予定地で伐採された範囲は62,290m²
なんと！福井フェニックススタジアム球場(13,588m²)の約4.6倍

足羽川ダム本体建設工事の進捗状況

いまはここ！
令和3年9月

1 伐採



建設予定地の立木の
伐採。終了しました。

2 仮設備設置



建設に必要な設備の
準備に入っています。
(骨材プラントや
コンクリートプラント)

3 基礎掘削



固い岩盤までの掘削と
水漏れ防止工事を
行います。

4 堤体打設



コンクリートでダム堤
体や管理設備をつくる
工事を行います。

5 試験湛水



運用前にダム湖に水を
貯め、正常に機能する
か確認します。



伐採の様子を
タイムラプスカメラで
撮影し、YouTubeにアップ
しています！



足羽川ダム見学スポット
10月1日からオープン！

- ダムギャラリーあすわ
- ダム本体建設工事展望台
(平日のみ)

詳しく足羽川ダムの事業進捗を知りたい方はここまで！

足羽川ダム 事業の進捗状況

検索

channel Asuwagawa

足羽川ダム工事現場の動画がご覧いただけます！

足羽川ダム YouTube

検索

足羽川ダム事業進捗

channel Asuwagawa



水海川で、水海川導水トンネルの入口部分になる 分水施設関連工事が始まりました。

足羽川ダムへ、水海川の水を引き込むための水海川導水トンネル(約4,7km)工事に着工(2017年)し、すでに4年が経過しました。現在、導水トンネルは出口部(吐口)から掘り進み、すでに半分を超えました。今年6月から、入口部(呑口)となる池田町水海地先で、分水施設の建設工事にあたり、現状ある余分な土の掘削や立木の伐採等を行い分水施設をつくるための準備を進めています。

導水トンネル出口(吐口部)



株式会社新井組
作業所長 中井 清光

分水施設関連工事業者からのご挨拶

この度、池田町水海地区において、水海川導水トンネルの分水施設の建設工事に先駆け、準備工事を行っております。今回の工事では、株式会社新井組と石黒建設株式会社の2社で、同施工箇所です3つの工事を進めております。工事は安全に留意し、水海川の自然環境を極力保全しながら進めて参ります。地域の皆様方には、大変ご迷惑をおかけしますが、工事期間中のご理解とご協力をお願い申し上げます。

集水面積図



入口(呑口部)

水海川の上流部で工事を行っています。



工事場所：福井県今立郡池田町水海地先



出口(吐口部)

全長約4,700mの内、約3,000mまで掘り進んでいます。

水海川分水施設左岸河床掘削他工事 水海川分水施設右岸河床掘削他工事

工事期間：令和3年6月19日～令和4年3月10日
事業者：株式会社新井組

水海川分水施設河道内土砂盛土他工事

工事期間：令和3年6月16日～令和4年3月10日
事業者：石黒建設株式会社

教えて!

Q 分水施設ってなあに?

A

分水施設とは、堰で洪水を止め、導水トンネルを使って足羽川ダムへ洪水を流す施設です。九頭竜川水系河川整備計画の目標である戦後最大規模の洪水(平成16年福井豪雨規模)に対応するには、足羽川ダムの上流域だけでは集水面積*が少ないため、水海川からの水も集める計画になっています。

*集水面積=降った雨が川へ集まる面積のこと。

【共同発行元】国土交通省近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所
福井県土木部河川課 ダム建設管理・足羽川ダム対策グループ

【お問い合わせ先】〒918-8239 福井市成和1-2111 ポラリスビル TEL (0776) 27-0642(代) FAX (0776) 27-0643
<https://www.kkr.mlitt.go.jp/asuwa/> (足羽川ダム計画は、ホームページでもご紹介しています。)